

平成31年度の管理運営状況（大井ホッケー競技場）

指定管理者：アメニス海上南部グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等
管理状況	適切な管理の履行	施設・設備の保守点検	新規施設・設備の管理において、「大井ホッケー場 設備点検維持管理業務等仕様書」を策定し、計画的に点検を実施。その特性を理解し、習熟度を高めながら維持管理を行うことができた。また、故障・不具合等がないよう、電気室や機械室等の巡回を実施し、目視点検を行った。その他、ピッチ整備等で気になる点が散見された際には、速やかに組織委員会へ報告を行った。
		施設の清掃(清潔さ)	オーバーレイ工事期間中など施設利用がない期間を除き、日常清掃を確実に実施し施設内の美化に努めた。また、窓ガラスや廊下のワックス清掃、側溝の掃除などの定期清掃も計画に沿って実施した。
		施設の警備	利用のあった時は、利用終了後に更衣室や各諸室内、観客席も含め施設全体の巡回点検を実施し異常がないことを確かめた後、確実に施錠を実施し施設の保全に努めた。オーバーレイ工事期間中においても日々定期的に侵入・破損等の異常がないかの巡回点検を実施した。
		人員配置	大井ホッケー競技場が所在する大井ふ頭中央海浜公園も私どものグループが管理運営しており、そのスポーツ施設の運営スタッフを兼務で配置することにより、繁閑に対応しやすい体制づくりとコスト削減に貢献している。また、公園管理事務所には設備関係に経験豊富な人材も配置しており、競技場で不測の事態が発生した場合にも迅速な対応が可能な状態となっている。
		人材育成の取り組み	新規施設の団体利用受付において、港湾局施設の団体利用方法を参考に、手探り状態から試行錯誤を繰り返し、ノウハウを蓄積していき、スムーズに対応できるスキームを構築していった。運用過程での改善点については、関係者間で随時ミーティング等で共有を図り、平準化に努めた。
		施設の提供について	管理運営基準に則り、優先受付を行った。H31年度においては、2020大会に向けてピッチを良好な状態に保つため、東京都及び関係団体と協議の上、日本ホッケー協会および東京都ホッケー協会への貸し出しに限定し、ナショナルチームの代表合宿や複数の大会を開催した。
	法令等の順守	個人情報保護の取り組み	運営スタッフに個人情報に関する研修の実施のほか、個人情報管理台帳を作成し、運用上のリスク分析を行った。また、定期的に運用を確認できるよう点検シートを作成した。
	安全性の確保	防災への配慮・緊急時対策	台風発生時は、接近前に施設を点検し備品の飛散や転倒の防止対策を実施。台風通過後は、施設の復旧と都へ被害状況の報告を速やかに行い、利用者が安全に利用できるよう努めた。その他、自衛消防技術認定証を6名が取得し、火災・地震などの災害が発生したときに中核要員として活動を行える体制を整えた。また認定を受けるだけでなく、有事に動けるようホッケー競技場で火災発生時の避難訓練を実施した。
事故への対応		プレイ中の怪我で119番通報した際は、傷病者のもとへ救急車が早く駆け付けられるよう園内の誘導を行った。(救急通報：5件)	
事業効果	利用の状況	利用状況	団体利用：国内ホッケーナショナルチームの合宿、ホッケージャパンリーグ男子決勝、全日本学生ホッケー選手権大会、関東学生秋期ホッケーリーグ戦、シニア&レディースホッケー大会、READY STEADY TOKYO-HOCKEY等の利用。利用人数は、メインピッチ：12,955人、サブピッチ：7,615人（観客は除く）
	事業の取り組み	自主事業の実施状況	国内ホッケーナショナルチームの合宿利用（延べ日数 男子14日 女子36日）。ホッケー競技の普及、紹介とオリンピック気運の醸成を図るため品川区、大田区と協力しジュニアホッケー教室（延べ参加者 192人）を開催した。
		サービス向上に向けた取り組み	利用者にとっても初めての施設であるため、利用方法（利用枠、料金体系、申込方法等）の事前説明から始まり、大会前に綿密な打合せを行うことで、大会当日は、設備（諸室、放送機器、散水、照明、備品の貸し出し等）をスムーズに利用できるよう努めた。また、回を重ねる毎に、利用者が間違いやすい点については、案内掲示などを行うよう改善を行った。工事期間中の利用においては、利用者の安全を図るため、カラーコーンやバーで安全通路を確保し危険箇所に入れられないようにした。また、工事関係者との連絡調整を密に行い、工事の過程毎に変化していく順路等を適宜案内掲示した。
	その他	東京2020大会に向けた大井ふ頭中央海浜公園内の整備や施設の改修工事に際して、組織委員会と連携協力し、園内及びホッケー競技場への安全な動線の確保に努めた。	

【作成上の注意事項】

- ・挙げていただく項目数に制限はありませんが、A4で1枚に収まるようご作成ください。
- ・ご提出いただいたプレゼンテーション資料は、評価委員会の会議資料として、後日、オリンピック・パラリンピック準備局のHPIに掲載します。